

夢は東京パラで審判

○：クアッドシングルスマーンの決勝戦。ボールパーソンの川棚湧貴さん(19)の写真は、きびきびした動きでボールを拾った。「張り詰めた空気に緊張しました」。九州工業大情報工学部2年でテニスサークルに所属。4月に日本テニス協会の審判講習会を受けC級審判員の資格を得た。「将来本格的に審判をやりたい」。



い」。佐賀市出身。高校で主力選手になれず、審判で大会を支えたいと思うようになった。夏には古里

であるシユニアの大会で審判の一步を踏み出す。2020年の東京パラリンピックで審判をするのが夢です」

平成26年5月18日（日）
西日本新聞筑豊版24面